

アーツカウンシル東京

令和4(2022)年度 第1期 東京芸術文化創造発信助成

「カテゴリⅠ 単年助成」「カテゴリⅡ 長期助成」 「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成 第1期】」

対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京では、東京の芸術文化の魅力を上昇させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援しています。

このたび、令和4(2022)年度 第1期 東京芸術文化創造発信助成の対象事業を決定いたしました。

「カテゴリⅠ 単年助成 第1期」には242件の申請があり、54件を採択いたしました(採択率22.3%)。助成予定総額76,809千円です。

「カテゴリⅡ 長期助成」には24件の申請があり、2件を採択いたしました(採択率8.3%)。助成予定総額13,713千円です。

「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成 第1期】」には29件(長期助成:19件、単年助成:10件)の申請があり、3件を採択(長期助成:0件、単年助成:3件)いたしました(採択率10.3%)。助成予定総額2,170千円(長期助成:0円、単年助成:2,170千円)です。

令和4(2022)年度 東京芸術文化創造発信助成 「カテゴリⅠ 単年助成 第1期」

「カテゴリⅠ 単年助成」では、都内で実施する公演・展示・アートプロジェクトその他の公開を伴う芸術創造活動や、海外公演・展示、国際コラボレーション、国際フェスティバル、招聘公演・展示等の国際的な芸術交流活動を対象とします。

■ 令和4(2022)年度「カテゴリⅠ 単年助成 第1期」 申請・採択件数

分野	区内での芸術創造活動		国際的な芸術交流活動		申請件数	採択件数
	申請	採択	申請	採択		
音楽	60	8	9	1	69	9
演劇	56	8	8	5	64	13
舞踊	23	6	4	0	27	6
美術・映像	27	6	7	1	34	7
伝統芸能	25	12	2	2	27	14
複合	15	4	6	1	21	5
合計	206	44	36	10	242	54

・対象期間 : 2022年7月1日以降に開始し、2023年6月30日までに終了する事業

■ 令和4(2022)年度「カテゴリーI 単年助成 第1期」採択事業 一覧

申請 242 件、採択 54 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金交付決定額
音楽	都内での芸術創造活動	都内	団体	一般社団法人東京シンフォニエッタ	東京シンフォニエッタ 第52回定期演奏会	800
				特定非営利活動法人日本ガムラン音楽振興会	両界ガムラン曼荼羅	1,164
				オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2022	750
				アブサラス	第10回アブサラス演奏会	180
				株式会社フォンス・フローリス	魅惑のルネサンス・シャンソンI	496
				特定非営利活動法人日本現代音楽協会	世界に開く窓 欧州のアンサンブル ①アンサンブル・ルシェルシュ来日公演(仮)	560
			個人	間宮匠	間宮匠マンドリンリサイタル 「2つの現代」(仮)	154
				安達真理	MARI ADACHI presents 武満徹×シキ・ゲン(仮)	450
	国際的な芸術交流活動	都内および海外	団体	Buffalo Daughter	We Are The Times ツアー	2,400
演劇	都内での芸術創造活動	都内	団体	ヌトミック	ヌトミック『SUPERHUMAN 2022』	1,800
				株式会社precog	contact Gonzo×やんツー新作「untitled session(仮)」	1,800
				ほろびて	あでな／いある(仮)	1,440
				一般社団法人トランスレーション・マターズ	父なき子を照らす月/A MOON FOR THE MISBEGOTTEN(邦題仮)	1,600
				譜面絵画	「幻幻幻と現現のあいだ」	1,400
				くちびるの会	くちびるの会 第七弾 『老獣のおたけび』	1,800
				終のすみか	終のすみか新作公演(仮)	379
				c o n S e p t 合同会社	Dialogue in Theater #2 『ハイゼンベルク』	1,000
	国際的な芸術交流活動	海外	団体	エッチビー株式会社	イキウメ「外の道」パリ公演	4,000
				一般社団法人チェルフィッチュ	チェルフィッチュ×藤倉大 新作音楽劇「厄介事の、彼方から(仮)」世界初演@ウィーン	3,200
		都内および海外		有限会社名取事務所	パレスチナ演劇上演シリーズ「占領の囚人」ワークインプログレス、及び公演	2,800
		海外		一般社団法人賛沢貧乏	賛沢貧乏『わかろうとはおもっているけど』パリ公演	3,200
				合同会社かもめマシーン	ルーマニア・電話演劇プロジェクト(仮)	1,516
				団体せきかおり	関かおりPUNCTUMUN公演(タイトル未定)	2,000
		舞踊		都内での芸術創造活動	都内	団体
東雲舞踏	舞踏公演『三つ巴』		1,800			
合同会社AtZ00	ブッシュマン新作公演『羊羊羊羊羊羊羊』		1,600			
株式会社オフィス・ダンサブル	第二回 花柳琴臣舞踊リサイタル		1,200			
個人	山田せつ子		シロヤギ ト クロヤギ 一遺言ではないにしても 弔辞ではないにしても			

活動分野	活動内容	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金交付決定額
美術・映像	都内での芸術創造活動	都内	団体	イメージフォーラム	“青年特快” — 中国インディペンデント映画の新しい声とヴィジョン (仮)	1,500
				特定非営利活動法人ウォールアートプロジェクト	インドの民族画・ワルリ画の世界に触れ、描くワークショップ (仮)	960
				山水東京	現代美術展「都市の山水」 (仮)	1,600
				neoneo編集室	東京ドキュメンタリー映画祭2022	875
			個人	金仁淑	個展《Between Breads and Noodles》x トークイベント 《金仁淑 宇多村英恵》	500
	張洋宇	共苦から救済へ：アート・プラクティスにおける「苦痛」の宗教性とその表象 (仮)		450		
国際的な芸術交流活動	都内および海外	団体	GROUP	日米若手建築家による展示とシンポジウムを通じた国際的なプラットフォームの創出 (仮)	2,800	
伝統芸能	都内での芸術創造活動	都内	団体	The Shakuachi 5	The Shakuachi 5 『The 3rd Concert』 (仮)	1,000
				創邦21	創邦21 第19回作品演奏会	1,100
				若獅子会	第十四回 若獅子会	1,917
				The 箏 Koto実行委員会	The 箏 KOTO 第3回 箏の可能性を探る	1,649
				日本尺八演奏家ネットワーク (JSPN)	日本尺八演奏家ネットワーク (JSPN) 第3回定期公演 <伝統尺八 VS 革新尺八> 尺八音楽はどこに向かうのか (仮題)	1,118
				NHK邦楽技能者育成会合奏団 現代邦楽“考”	第四回 現代邦楽“考” ~現代邦楽の“密”を求めて~ (仮)	1,600
				一般社団法人一糸座	アトリエ古典小劇場 I・II (仮)	1,200
				特定非営利活動法人ACT. JT	第九回立合狂言会	600
				吉村七重箏研究所	邦楽展Vol.35 Koto collection Today ~久田典子プロデュース~	1,102
				個人	山本亜美	第8回山本亜美 箏 二十五絃箏リサイタル オトを編む
	小濱明人	第5回 小濱明人 尺八リサイタル	500			
	八木美知依	MICHIYO YAGI TALON: HYPER-KOTO ENSEMBLE Vol.3 (仮)	400			
	公益財団法人十四世六平太記念財団	喜多流能楽ニューヨーク公演 (仮)	2,000			
	国際的な芸術交流活動	海外	団体	八王子車人形西川古柳座	AKUTAGAWA	3,200
青山実験工房実行委員会				青山実験工房公演 第7回	1,800	
複合	都内での芸術創造活動	都内	団体	こほろぎ舎	「あのころのうた」 2公演企画	1,197
				一般社団法人もんでん	第7回両国アートフェスティバル2022	1,200
				富士山アネット	United Me	994
				KAB Library and Residency	国際交流文化事業「街まるごとレジデンス」 (仮)	3,200
	国際的な芸術交流活動	都内および海外	団体	KAB Library and Residency	国際交流文化事業「街まるごとレジデンス」 (仮)	3,200

■ 令和4(2022)年度「カテゴリーI 単年助成 第1期」採択結果の概況

● 音楽分野

音楽分野は2年前から申請数が伸びており、今期も前回の令和3年度第2期の130%となり、過去最多を更新しています。これまで多数を占めていたクラシックや現代音楽が6割になり、民族音楽やロック、ジャズ等ジャンルに広がり生まれ、採択結果にも反映されています。一方、採択に至らない申請には、公募ガイドラインに提示されている本助成の趣旨に適合しないものが散見されました。特に年間に行う複数公演をまとめた申請が複数ありましたが、同一の趣旨・目的のもとに実施する企画でなければ1件とみなされませんのでご注意ください。今後も、より創造性の高い活動のご申請に期待いたします。

● 演劇分野

申請件数は過去最多で、活動拡大・発展期と活動成熟期にあたる個人や団体からの申請が増加しました。初申請は約5割です。内容の傾向としては、現在の社会問題をテーマにした演劇作品公演の申請が増加し、申請者ならではの視点・演劇的表現によってテーマを捉え描こうという試みの認められるものが採択となっています。国際的な芸術交流活動は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大後に計画された意欲的かつ申請者の転機となり得る事業の申請が多く、高い採択率となりました。

● 舞踊分野

申請件数は過去2番目に多く、活動成熟期にある個人・団体からの申請が増加しました。採択の7割弱を活動拡大・発展期にある申請者が占め、その中からコロナ禍を経験した舞踊家が改めて生命や身体について再考し、作品のテーマとして扱う独創性の高い取り組みが3件採択となっています。そのほか、世代や創作手法が異なる舞踊家同士が協働し新たな身体表現を探求する活動や、日本舞踊の意欲的なりサイト等、次代の舞踊芸術の新たな展開に繋がる事業が採択に至りました。

● 美術・映像分野

絵画、写真、インスタレーション、デザイン等、多様な表現の創造活動の申請がありました。今期は、活動拡大・発展期のアーティストの企画が多くを占め、中でもコンセプトやテーマに独創性がある企画展・個展が採択となっています。そのほか、若手キュレーターと研究者による共同研究を作品制作・展示という実践に落とし込む分野横断的な展覧会や、建築家のコレクティブによる国際的なプラットフォームづくりを目指す意欲的な芸術交流活動が採択となりました。映画・映像領域では、企画に工夫をこらした映画祭の上映活動が2件採択となっています。

● 伝統芸能分野

能楽、邦楽、日本舞踊、和妻、和太鼓、詩吟、人形劇など幅広い種目から全27件の申請がありました。海外渡航を伴う事業も2件含まれ採択となっています。「継承性」が審査の観点に含まれている伝統芸能分野では活動拡大・発展期、活動成熟期にある個人や団体の採択が多い傾向がありますが、今回は特に、それまでの修練や研鑽の上に立ち、その種目ならではの特性や個性を掘り下げたうえで波及効果も見据えるという、継承性・創造性に広い視野を伴った事業が採択となりました。

● 複合分野

複合分野には、21件の申請があり5件が採択となっています。多分野アーティストによる舞台公演や、異なる分野を活動領域とするアーティストらを招聘する、地域性を活かした国際的なアーティスト・イン・レジデンス交流事業など、複合分野ならではの多様な申請がありました。その中でも、単なるジャンルの組み合わせに留まらない、創造的かつ実験的な触発を企図した事業や、科学技術を活用した新たな創作・鑑賞スタイルの実験を行う事業等の申請が採択に至りました。

**令和 4(2022)年度 東京芸術文化創造発信助成
「カテゴリーII 長期助成」**

「カテゴリーII 長期助成」では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスも含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップを後押しすることを目的に、2 年間または 3 年間の継続的・段階的な支援を行います。

■ 令和 4(2022)年度「カテゴリーII 長期助成」申請・採択件数

分野	区分	申請件数	採択件数
音楽	創作活動を主とするもの	1	0
	企画制作活動を主とするもの	4	0
演劇	創作活動を主とするもの	3	0
	企画制作活動を主とするもの	0	0
舞踊	創作活動を主とするもの	2	1
	企画制作活動を主とするもの	0	0
美術・映像	創作活動を主とするもの	3	0
	企画制作活動を主とするもの	2	0
伝統芸能	創作活動を主とするもの	0	0
	企画制作活動を主とするもの	0	0
複合	創作活動を主とするもの	7	1
	企画制作活動を主とするもの	2	0
合計		24	2

・対象期間 :2022 年 7 月 1 日以降に開始し、2024 年 6 月 30 日までに終了する事業(2 年間) 又は、
2022 年 7 月 1 日以降に開始し、2025 年 6 月 30 日までに終了する事業(3 年間)

■ 令和 4(2022)年度「カテゴリーII 長期助成」採択事業 一覧

申請 24 件、採択 2 件

(単位:千円)

活動分野	活動内容	申請団体名	川口隆夫	交付決定額
舞踊	創作活動を主とするもの	プロジェクト・活動名	「薔薇色ダンス」プロジェクト(仮)	7,182
		実施予定年数	3年	
		申請活動の概要	ダンサー・パフォーマーの川口隆夫が、1965年に上演された舞踏の創始者である土方巽と大野一雄の歴史的な作品「バラ色ダンス」を題材に、振付家・ダンサーの川村美紀子と長期リサーチとクリエイションを行い、新作を創作する。ドラマトウルクとしてダンス研究・評論の呉宮百合香、映像制作として映画作家・鈴木章浩が参加する。リサーチとクリエイションから開始し、都内でのプロトタイプ公演を経て、世界初演を皮切りに海外ツアーを展開していく。全体を舞踏のリサーチプロジェクトと位置付け、3年間の創作過程を含めた活動をアーカイブ化する。舞踏の歴史的な作品を従来の規範や美に抗う“キャンブ”的視点で捉えなおし、舞踏の新たな解釈を展開し、分野を跨いだ新たな身体表現を探求する事業。	
複合	創作活動を主とするもの	申請団体名	合同会社UPN	6,531
		プロジェクト・活動名	テラジア 隔離の時代を旅する演劇	
		実施予定年数	3年	
申請活動の概要	日本、タイ、ミャンマー、ベトナム、インドネシアの多分野アーティストとアートマネージャー、研究者らによるコレクティブが対話とリサーチを重ね、日本及び東南アジア各地域で現代の信仰や死生観をテーマにしたプロジェクト「TERA」を映像や舞台芸術作品、シンポジウム等で展開する。各活動の終了後は事業の蓄積としてドキュメンタリーブックを電子制作し公開する。アジアのパートナーシップを基に多様な議論を展開しながらローカルの思想や哲学を反映させた新たな作品を生むとともに、次代の国際パートナーシップを築く。			

■ 令和 4(2022)年度「カテゴリーII 長期助成」採択結果の概況

舞踊分野では、創作過程におけるリサーチやクリエイション活動の公開を通し、3 年間をかけて創作を発展させることが期待できる活動が採択となりました。複合分野では、東南アジア諸国のアーティストや研究者を巻き込み、映像作品の創作・国際シンポジウム実施を通して、3 年間をかけて、内容を深化させることが期待できる活動が採択となりました。申請案件の中には、各事業が単年度で完結しており、2 年又は 3 年の継続的・段階的な取り組みとはならない事業も見受けられましたので、申請時にはご注意ください。

**令和4(2022)年度 東京芸術文化創造発信助成
「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成 第1期】」**

「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成】」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対して、最長3年間の支援を行います。

■ 令和4(2022)年度「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」申請・採択件数

【長期助成】

分野	申請件数	採択件数
音楽	5	0
演劇	5	0
舞踊	2	0
美術・映像	3	0
伝統芸能	0	0
複合	4	0
合計	19	0

【単年助成 第1期】

分野	申請件数	採択件数
音楽	1	0
演劇	2	0
舞踊	1	0
美術・映像	2	1
伝統芸能	1	1
複合	3	1
合計	10	3

- ・長期助成対象期間 :2022年7月1日以降に開始し、2024年6月30日までに終了する事業(2年間) 又は、2022年7月1日以降に開始し、2025年6月30日までに終了する事業(3年間)
- ・単年助成対象期間 :2022年7月1日以降に開始し、2023年6月30日までに終了する事業

■ 令和4(2022)年度「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」採択事業 一覧

【単年助成 第1期】

(単位:千円)

活動分野	実施場所	団体／個人	申請者名	事業名	助成金交付決定額
美術・映像	都内	団体	Japanese Film Project	JFP Joint ～映画界の若手&女性のためのネットワーク作り～	720
伝統芸能			「今藤政太郎作品演奏会」実行委員会	今藤政太郎復曲プロジェクト	550
複合			特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク	舞台芸術の「関係性」をめぐる連続講座2022～持続可能な創造環境に向けて(仮称)	900

■ 令和4(2022)年度「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」採択結果の概況

【長期助成】

今期は採択に至る申請はありませんでした。申請事業の中には、自らの団体の活動環境向上に留まる事業等も見受けられました。「カテゴリⅢ」の申請区分では、分野を広く見渡して分野全体の創造環境における課題を特定し、的確な解決手法・実施体制で課題解決に取り組むとともに、2年から3年をかけて実施する必然性のある事業を対象としています。本カテゴリの趣旨に沿った意欲的な申請に期待します。

【単年助成 第1期】

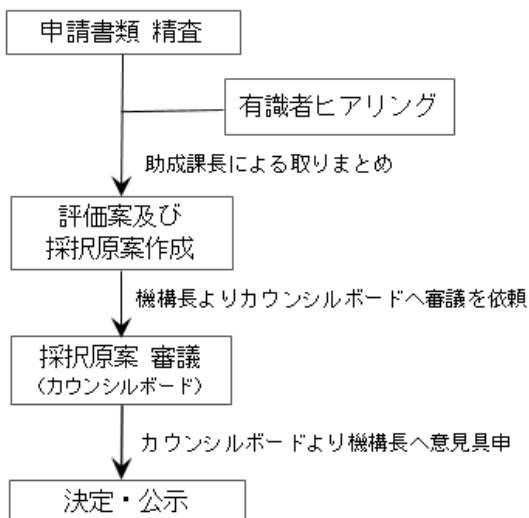
美術・映像分野では、映画界におけるジェンダー格差や労働環境等の課題に着目し、若手・女性の映画人のためのオンラインプラットフォームづくりに取り組む事業や、伝統芸能分野では、長唄の復元作曲を行い同作曲過程の公開等を通して、分野全体への波及が期待できる事業が採択に至りました。一方で、「カテゴリⅢ」の趣旨に合致しない申請も複数見受けられました。公募ガイドラインに記載の「対象となる事業内容」及び「助成の基本方針(審査基準)」をご確認の上、これらに適合する企画の申請に期待します。

■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

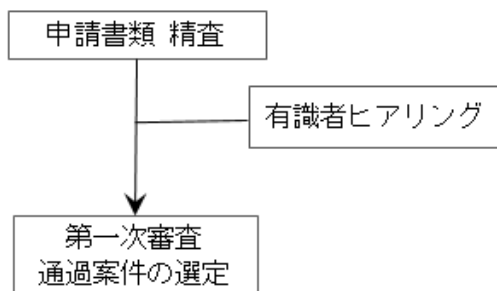
東京芸術文化創造発信助成 カテゴリⅠ・カテゴリⅢ【単年助成 第1期】

審査プロセス

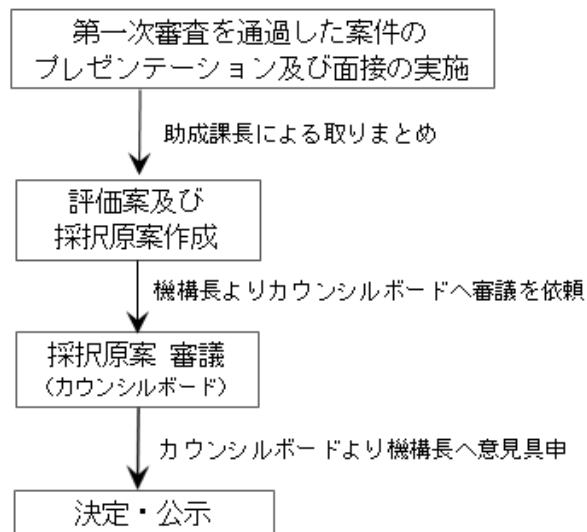


東京芸術文化創造発信助成 カテゴリⅡ・カテゴリⅢ【長期助成】

第一次審査



第二次審査



<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部 助成課 担当：玉虫、井上
TEL：03-6256-8431 E-mail：josei@artscouncil-tokyo.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/>